_							7,1		<u> </u>		10 12-22-12-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-14-	**	•			
	事務事		761	₂₂₁ 事 務	過疎対策	車業						担	当	部	建設部	
		ド	701	事業名	迪 琳	尹木						担	当	課	土木課	
	政策	名	1	快適で魅力	」あるまちづく	(IJ						グ	ルー	- プ	道路整值	備第1∙2G
ı	施策	名	2	交通体系0	交通体系の充実						電	話番	号	45-5111		
ı	基本事	業名	1	道路ネット	フークの構築							内	線番	号	2771 • 27	774
	予算	会計 一般会計														
	科目	款	8	土木費	項	2	道路橋	梁費	目	2	道路新設改良	費			<mark>-ド</mark> 7	761231

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平成23年度		平成24年度	完了		
号	四水石寺	区分	実績	区分	計画	予定	畑つ	
1	横川〜山ヶ野線	継続横川	(繰)用地補償 (繰)委託 改良工事 L=200m 50,019	継続横川	舗装工事 L=200m	H 24	H22→H23:5,481千 円 用地補償、委託	
2	下植村~水窪線		(繰)改良工事 L=185m 29,005			H 23	H22→H23:29,005 千円 改良工事	
3	城山2号線 (城山線)	新規横川	委託設計 L=1,450m 4,450	新規横川	用地補償 (繰)委託 改良工事 L=160m 45,059	H 28	H23→H24:19,259 千円 委託設計	
4	宿窪田線	継続牧園		継続牧園	(繰)委託設計 L=1300m 用地補償 21,750	H 30	H23→H24:15,750 千円 委託設計	
5	三体堂線	継続牧園		継続牧園	(繰)委託設計 L=400m 工事L=120m 用地補償 30,783	H 26	H23→H24:2,783千 円 委託設計	
6	落水田~万膳線	継続牧園		継続牧園	(繰)委託設計 (繰含)工事L=300m (繰含) 用地補償 61,646	H 25	H23→H24:28,146千円 委託、工事、用地補償	
7	龍石線	継続牧園	改良工事 L=140m 6,960	継続牧園	委託設計 L=400m 3,000	H 27		
8	牧野柴建線	継続福山	用地補償 委託設計 L=380m 6,312	継続福山	(繰)用地補償 改良工事 L=110m 15,760	H 25	H23→H24:760千円 用地補償	
9	宝瀬線	継続福山	委託補償 735	継続福山	(繰含)用地補償 (繰含)改良工事 L=200m 39,700	H 27	H23→H24:18,700 千円 工事、用地補償	
10	大屋敷線	継続福山	用地 改良工事 L=140m 8,012	継続福山	(繰含)用地補償 委託 (繰含)改良工事 L=340m 57,780	H 25	H23→H24:17,780 千円 工事、用地補償	
	<地区別>	総	送続= 9 新規= 2	総	送続= 9 新規= 2			

H 23 H 24 国分 溝辺 横川 4 牧園 4 4 霧島 隼人

3

福山

<全体事業費>			平成23年度	決算(A)	平成24年度	€計画(B)	前年度比較(B)-(A)				
事	業	費		114,613		303,178		188,565			
事	務	費						0			
合		計	8路線	114,613	11路線	303,178	3 路線	188,565			

ı				
	<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
	国庫補助金			0
	県 支 出 金			0
	地 方 債	114,300	302,800	188,500
	その他			0
	一 般 財 源	313	378	65
	슴 計	114 613	303 178	188 565

(2)事務事業に対する住民意見等

3

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の 牧野柴建線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられ

番 号	路線名等		平成23年度 実績	平成24年度 区分 計画			備考
号	四小水 口 寸	区分	実績	区分		完了 予定	NH 7
11	下植村•下新原線			新規	改良工事 L=100m	H 26	
	1 10-13 1 2012/3024			横川	10,500	1120	
10	D21+1	新規	用地補償 委託 改良工事 L=300m	継続	用地補償 委託 改良工事 L=80m	11.04	
12	岡村~丸岡線	横川	以良工事 L=300m 9,120	横川	以良工事 L=80m 8,200	H 24	
		194711	0,120	1947-1	0,200		
13							
14							
15							
16							
10							
17							
18							
19							
20							
0.4							
21							
22							
23							
24							
25							
06							
26							
27							
28							
\vdash							
29							
<u> </u>							
30							
31							
31						-	
32							
33							
<u> </u>							
34							
_							
35							

 事務事業 コード
 761231
 事務 事業名
 過疎対策事業
 担当部 建設部 担当課 土木課

2 =	平価の部 <9	SEE>	評価	評価理由					
~ #		①政策体系との整合性	птіш						
A I	目的妥当性	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	 ■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事務事業を実施することにより、市民が安全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。					
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道 路を整備する事は妥当である。					
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。					
		④事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。					
· ,		⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。					
D ?	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	 公平・公正である 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。					
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	ā)					
総	A 目的妥当								
	B 有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある		若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ					
括	C 効率性	■ 適切 □ 見直す必要がある	るよう、早期完成を目指して事業を推議	進する。					
	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある							
3 4	3 今後の方向性 <plan></plan>								
		とづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)					

(1)評価結果にも	とづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 有効性改善	[有効性③の結果]	広範囲にわたり地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。この厳しい財源状況の中、地元の優先順位等を考慮して、ビルドアンドスクラッ
□ 効率性改善(:	コスト削減) [効率性④⑤の結果]	プを基本に通行の安全を図り、快適に移動できるように道路改良事業を実施していく。
□ 公平性改善	[公平性⑥の結果]	and the state of t
■ 現状維持・継続	続	

_			-			_	711 HI III P1			10 1242212H 4v		_		
I	事務事業 ⁷⁶¹³¹¹ 事 務				 於總市道惠	幹線市道整備事業(旧 地方道路整備事業(交付金))					担	当		建設部
コード 761313 事業名 軒板 12 正 順 事 来 (1							宋(11 地力追叫走)	1四是''' 字 宋 (文 17 显 / /			担	当	課二	上木課
I	政策名 1 快適で魅力あるまちづくり								グ	ルー	プi	道路整備第1∙2G		
ľ	施策	後名 2 交通体系の充実									電	話番	号 4	5-5111
I	基本事	基本事業名 1 道路ネットワークの構築								内	線 番	号 2	771 • 2774	
Ī	予算	会計	<u> </u>	般会計										
	科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	幹線市道整備	帯事	業費	$\neg -$	۲61313

(1)事務事業の目的 1. 現状把握 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平成23年度		平成24年度	完了	備考	
号	28100 E 3	区分	実績	区分	計画	予定		
1	住吉東線	継続	改良工事W=9.75m L=400m(繰越含む) 用地補償一式(繰越含む)	継続	改良工事W=9.75m L=380m(繰越含む) 用地補償一式(繰越含む)	H 25	H22→H23:63,067千円 H23→H24:99,057千円 工事(L=200m)、用地補償	
		隼人	84,013	隼人	238,067		一式	
2	馬立北原線	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25m L=210m	継続	補償一式(繰越含む)、設計委託L=365m 改良工事 W=10.25m L=400m(繰越含む)	H 26	H23→H24:25,814千円 改良工事L=210m、補償	
		溝辺	19,746	溝辺	65,814		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
3	上小川~迫田線			新規	改良工事W=10.25m L=605m	H 24		
				国分	144,700			
4	宮迫~梅ノ木線	継続	用地補償一式 法面工事 L=131m	継続	用地補償一式 法面工事 L=131m	H 24	H23→H24:21,120千円 改良工事L=131m	
		霧島	14,337	霧島	21,120		用地補償一式	
5	(維持G) 福島府中線		(繰)道路舗装 一式			H 23	H22→H23:31,376千円 道路舗装 一式	
	III E47/13 1 /6/2	国分	31,376					
6	(維持G) 宮迫〜梅ノ木線		(繰)道路舗装 一式			H 23	H22→H23:29,060千円 道路舗装 一式	
	日 垣 一個 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	霧島	29,060					
7								
8								
9								
10								
	<地区別>	総	送続= H3 新規= 2	維	送続= 3 新規= 1			

H 23 H 24 <全体事業費> 平成23年度決算(A) 国分 事 費 178,532 1 事 務 費 1

5路線

計

平成24年度計画(B) 前年度比較(B)-(A) 469,701 291,169 0 178,532 4路線 469,701 1 路線 291,169

溝辺 横川 牧園 霧島 2 1 隼人 1 1 福山

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金	98,141	258,328	160,187		
県 支 出 金			0		
地 方 債	44,200	129,800	85,600		
そ の 他			0		
一般財源	36,191	81,573	45,382		
合 計	178,532	469,701	291,169		

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

合

② この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着住吉東線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要 望が寄せられた。

幹線市道整備事業(旧 地方道路整備事業(交付金))

2	評価の部 <	SEE>	評価	評価理由
		① 政策体系との整合性		この事務事業を実施することにより、市民が安
Α	目的妥当性	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	全快適に移動することができるようになり、市の 政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつ く。
	評価	② 公共関与の妥当性		
		・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道 路を整備する事は妥当である。
		③ 廃止・休止の成果への影響		ナロジか入め、さい砂熱べさわノわり 古の政策
В	有効性評価	・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
		④事業費の削減余地		
	ᆠᆄᆉᅋᄺ	・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。
Ü	効率性評価	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地		事業に関しては最低限の職員数で担当してい
		・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	る。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 業務は勤務時間内で対応することで人件費の 抑制を行っている。
		⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地		道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が
D	公平性評価	・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めていない。
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	(1)
総	A 目的妥当	6性 ■ 適切 □ 見直す必要がある		
	B 有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある	国からの交付金が要求どおり交付され	ιずに厳しい財政状況の中、事業を進めている
			状況である。今後も、市民の要求に応	えられるよう、早期完成を目指して事業を推進
括			する。	
	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある		
3 -	今後の方向性	<plan></plan>		
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)
Г	□廃止	「目的妥当性①②、有効性③の結果〕		
_	_ <i>;</i> ;	[日的巫当性①② 有為性②の結果]		

(1)評価結果にも	とづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 有効性改善	[有効性③の結果]	広範囲にわたり地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。この厳しい財源状況の中、地元の優先順位等を考慮して、ビルドアンドスクラッ
□ 効率性改善(=	スト削減)	プを基本に通行の安全を図り、快適に移動できるように道路改良事業を実施していく。
□ 公平性改善	[公平性⑥の結果]	The state of the s
■ 現状維持・継続	t	

					, VIV HI		_			1 1×2×21 1/2	77 13	_			
事務事		761	事務	新川北線道		<u>.</u>					担	当	部	建設部	
<u>П</u>	ド	701	事業名	利力は水坦	阿亚州尹 木	-					担	当	課	土木課	
政策	「名」 快適で魅力あるまちづくり										グ	ルー	プ	道路整備第1•	•2G
施策	施策名 2 交通体系の充実									電	話番	号	45-5111		
基本事	業名	1	道路ネットワ	一クの構築							内	線番	号	2771 - 2774	
予算	会計	— Я	股会計												
科目	款	8	土木費	項	2 道路村	喬梁費		目	3	幹線市道整例	事:	業費		−ド 761312	2

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成23年度 区分 実績			平成24年度 計画	完了 予定	備考
7				区分			
1	新川北線 (仮称)住吉橋	継続	橋梁設計(繰越)	継続	橋梁下部工(繰越含む)	H 27	H22→H23:55,151千円 H23→H24:92,100千円 橋梁下部工
		隼人	55,151	隼人	934,114		橋梁下部工
2							
3							
١,							
4							
5							
6							
١							
7							
8							
9							
10							
	<地区別>	総	送続= 1 新規= 0	総	送続= 1 新規= 0	İ	

H 23 H 24 国分 溝辺 横川 牧園 霧島 隼人 1

福山

<全⁴	体事業	費>	平成23年度決算((A)	平成24年月	度計画(B)	前年度比較(B)-(A)			
事	業	費	5	55,151		934,114		878,963		
事	務	費						0		
合		計	1路線 5	55,151	1路線	934,114	1 路線	878,963		

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
国庫補助金	30,333	152,405	122,072		
県 支 出 金			0		
地 方 債	23,500	742,500	719,000		
その他			0		
一般財源	1,318	39,209	37,891		
슴 計	55,151	934,114	878,963		

(2)事務事業に対する住民意見等

①誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

この新川北線の道路整備に対して早期着工、早期完成の要望が寄せら 新設橋である(仮称)住吉橋の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。 れている。

部 建設部課 土木課 事務事業 コード 事 務事業名 761312 新川北線道路整備事業

			_							
2	評価の部 <	SEE>		評価	評価理由					
		① 政策体系との整合性			この事務事業を実施することにより、市民が安					
A	目的妥当性	・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?			全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。					
-	評価	② 公共関与の妥当性								
		・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?			公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道 路を整備する事は妥当である。					
		③ 廃止・休止の成果への影響			市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策					
В	有効性評価	・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?		■影響がある	の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。					
		④事業費の削減余地			1					
	ᅶᆇᄴᇗᄺ	・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?		■ 削減余地がない□ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。					
C	効率性評価	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	į		事業に関しては最低限の職員数で担当してい					
		・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?		□ 削減余地がある	る。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督 業務は勤務時間内で対応することで人件費の 抑制を行っている。					
		⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地			道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が					
D	公平性評価	・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?		■ 公平・公正である	利用することから、公平性は保たれる。また、多益者負担は求めていない。					
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(;	2)全体総括(振り返り、反省点	. (.					
総	A 目的妥当	当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある								
	B 有効性				いずに厳しい財政状況の中、事業を進めている					
括	C 効率性				えられるよう、早期完成を目指して事業を推進					
TI	D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある	する) _o						
	DATE	■ 週リ □ 兄旦9 必安ルのる	Щ.							
3	<mark>今後の方向性</mark>	< <u>PLAN></u>			<u></u>					
		もとづく今後の方向性	(2	2) 具体的な改善計画 (又は廃.	止・休止すべきとした場合の理由)					
[□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]								
ſ	□ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]								
ſ	□ 有効性改善	[有効性③の結果]	本年	丰度から工事に本格的に着手する	ので、公園関係者、漁協関係者と協議を重ねて					
ſ	□ 効率性改善((称)住吉橋の完成を目指していく。						

[効率性④⑤の結果]

[公平性⑥の結果]

□ 効率性改善(コスト削減)

□ 公平性改善

■現状維持・継続

									<u> </u>		.,	•		
事務事	事業	761	1920							担	当	部	建設部	
<u>П</u>	ド	7012	230 事業名 地方特定追踪登课事業								担	当	課	土木課
政策名 1 快適で魅力あるまちづくり										グ	ルー	゚゚゚゚゚゚゚゚゚	道路整備第1·2G	
施策	名	2	交通体系の	交通体系の充実 電話番号 45-5111								45-5111		
基本事	業名	1	道路ネット「	フークの構築							内	線番	号	2771 • 2774
予算	会計	→ ∮	般会計											
科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費		目	2	道路新設改良	費		□-	−ド 761230

(1)事務事業の目的 1. 現状把握 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	4 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等		平	成23年度			平成24		完了	備考	
号	四派石 寸	区分		実績		区分		†画	予定		
1	 川跡〜新川線 (川跡〜松木線)	継続	用地補償(繰)改良	、委託補償 工事 L=133m		継続	用地 (繰含)改良工事		H 26	H22→H23:20,200千円 工事 H23→H24:35,000千円	
		国分			37,118	国分		81,400		工事	
2	国分中央高校〜国分郵便局線 (駅前通り線)		委託設計			补 胚的记	用地補償 (繰)改良工事		H 25	H23→H24:20,000千円 工事	
	(19/11-12-27/07/	国分			483	国分		41,000			
3	高千穂~泉水線		用地、委託	托補償		継続	用地補償 (繰含)改良工事	≸ L=292m	H 24	H23→H24:15,000千円 工事	
		霧島			570	霧島		42,000			
4											
5											
6											
7											
,											
8											
9											
10											
13											
	<地区別>	総	送続= 3	3 新規=	: 0	継	送続= 3	新規= 0			

H 23 H 24 国分 2 溝辺 横川 牧園 霧島 1 1 隼人 福山

<全⁴	体事業	費>	平成23年度決算	[(A)	平成24年周	度計画(B)	前年度比較(B)-(A)		
事	業	費		38,171		164,400		126,229	
事	務	費						0	
合		計	3路線	38,171	3路線	164,400	0	126,229	

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県 支 出 金			0
地 方 債	34,200	147,900	113,700
その他			0
一般財源	3,971	16,500	12,529
슴 計	38,171	164,400	126,229

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の 川跡~新川線(川跡~松木線)など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完 成の要望が寄せられた。

 事務事業
 761230
 事務 事業名
 地方特定道路整備事業
 担当 部 建設部

2	評価の部 <	SEE>	評価	評価理由					
Α	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事務事業を実施することにより、市民が安全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。					
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	 ■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道 路を整備する事は妥当である。					
B 有効性評価 ·事務事		③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	 ■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。					
		事業費の削減余地・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。					
C	効率性評価	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。					
D	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めていない。					
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省点	 (元)					
総括	B 有効性	■ 適切 □ 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗にるよう、早期完成を目指して事業を推	若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 進する。					
2	今後の方向性	CDI AN							
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)					
	<mark>/ 届 </mark>	「目的妥当性①②、有効性③の結果〕	NEW THE PARTY OF T	The American Manager					

(1)評価結果にも	とづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 有効性改善	[有効性③の結果]	広範囲にわたり地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。この厳しい財源状況の中、地元の優先順位等を考慮して、ビルドアンドスクラッ
□ 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果]	プを基本に通行の安全を図り、快適に移動できるように道路改良事業を実施していく
□ 公平性改善	[公平性⑥の結果]	
■現状維持・継	続	

_							· #:		ĺ	4	12 12 2 2 7 7 P 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	**	•									
	事務事		761	213 事務	道欧新疆河	7 白 車 学	¥					担	当		建設部 土木課							
	⊐-	ド	701	²¹³ 事業名	事業名					道路新設改良事業						但四初以以及爭未						
	政策	名	1	快適で魅力	」あるまちづく「	るまちづくり						グ	ルー	・プ	道路整備第	1 · 2G						
ı	施策	名	2	交通体系0	D充実)充実																
	基本事	業名	1	道路ネット	フークの構築	7-クの構築 内 線 番 号 2771·2774																
	予算	会計	<u> </u>	般会計																		
	科目	款	8	土木費	項	2 i	直路橋梁費		目	2	道路新設改良	費			·ド 7612	13						

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	路線名等 平成23年度 平成23年度			平成24年度	完了	備考
号	西山沙、口 43	区分	実績	区分	計画	予定	C, mn
1	鎮守尾~上之原線	継続	設計委託 L=180m 用地買収一式	継続	橋梁詳細設計L=20m 用補1式、地質調査N=4か所	H26	
		国分	9,456	国分	31,000		
2	川跡~有下線		用地、測量	継続	測量設計L=150m 用地補償1式	H30	H23→H24繰越 3,300千円 用地買収一式
		国分	3,395	国分	22,300		,, ,
3	市公民館前通り線		用地買収一式		(繰)用地買収一式	H25	H23→H24繰越 15,682千円
		国分	9,318	国分	15,682		用地買収一式
4	清水~国分運動公園線(旧清水 ~国分線)		用地補償一式	継続	改良工事L=111m W=7.5m	H24	
	国力(水)	国分	19,107	国分	28,000		
5	5 天降川東通り線		改良工事L=152m	継続	用地補償一式	H25	H23→H24繰越 17,300千円
		隼人 0 国分 19,300			改良工事一式		
6	広瀬~野口線他5路線	継続	建物調査一式	継続	用地補償一式	H25	
		国分	1,617	国分	89,000		
7	天降川東通り2号線線	継続	改良工事L=37m	継続	(繰)改良工事L=37m ボックスカルバートL=18m 2000×2000×2連	H28	H23→H24繰越 16,000千円
		国分	10,200	国分	34,000		改良工事L=37m
8	山下~名波線	継続	改良工事L=167m W=13m	継続	改良工事L=89m W=13m	H24	
		国分	16,282	国分	12,000		
9	新川上線	継続	実施設計L=110m 建物調査1棟		用地補償一式	H25	
		隼人	3,864	隼人	44,000		
10	木之房~内山田線(旧東郷宮内線)		用地補償一式 歩道改良工事L=60m	継続	用地補償一式 歩道改良工事L=30m	H24	H23→H24繰越 11,318千円 改良工事L=60m
<u> </u>		集人	12,741	集人 •	23,818		以以工事L-00III
	<地区別>	和	送続= 19 新規= 0	和	⊌続= 15 新規= 3		

H 23 H 24 国分 11 溝辺 2 1 横川 牧園 霧島 隼人 8

1

福山

<全体事業費>		費>	平成23年度決算	拿(A)	平成24年度	₹計画(B)	前年度比較	ξ(B)-(A)
事	業	費		174,445		457,900		283,455
事	務	費						0
合		計	19路線	174,445	18路線	457,900	▲ 1 路線	283,455

	<貝
6	国
	県
	地

<財源内訳>	平成23年度決算(A)	平成24年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金	7,598	20,700	13,102
県 支 出 金	0	0	0
地 方 債	98,800	363,600	264,800
そ の 他	25,000	0	▲ 25,000
一般 財源	43,047	73,600	30,553
合 計	174,445	457,900	283,455

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

② この事務事業に対する議会から出された意見

工、早期完成の要望が寄せられている。

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着 清水~国分運動公園線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望 が寄せられた。

番号	路線名等		平成23年度			平成24年度	完了	備考
号	2,127 1 3	区分	実績		区分	画情	予定	
11	小浜海岸線	継続	測量設計一式 改良工事L=50m		継続	用地補償一式 改良工事L=70m	H 27	H23→H24繰越 7,400千円
		隼人		3,465	隼人	15,600		改良工事L=50m
		継続	補償一式		継続	補償一式	11.00	H23→H24繰越
12	宮の杜線(旧宮内山口線)	隼人	改良工事L=60m	10,642	隼人	改良工事L=65m 48,200	H 26	14,700千円 改良工事L=50m
			ツ.ウェ ま、05	10,042	华八	40,200		\$\text{\$\exitt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\exitt{\$\text{\$\exitt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\exittity}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}
13	宮内松山線		改良工事L=65m				H 23	
<u> </u>		隼人	TT 1/1. LA /2/4 D.	7,329		FT 1-1. 1-2 /2/4		
14	三縄~嘉例川線(旧鳥ヶ池線)	継続	用地補償一式 改良工事L=100m		継続	用地補償一式 改良工事L=100m	H 26	H22→H23工事
		隼人		13,008	隼人	3,000	11.20	5,460千円
	1.11.6.1.66	継続	補償一式		継続	補償一式 舗装工事L=161m		
15	立岩糸走線	溝辺	改良工事L=161m	37,323	溝辺	改良工事L=112m 27,000	H 24	
			Jummer = D = D = D = C = C	31,323		概算事業費算定•費用便益分析		
16	スマートインター		概略設計N=3箇所		継続	1箇所	H 23	
		国分	改良工事L=83m	2,279	国分	1,800		
17	豊丸線	継続	以及工事L=83m 土地買収一式				H 23	H22→H23工事
		隼人		6,576			1	6,300千円
		継続	登記丈量図作成一式					
18	馬立北原線	溝辺		283			H 27	
			(48.) rb+b=n=1 -b	200				H22→H23
19	宝瀬線	継続	(繰)実施設計一式				H 27	H23から過疎事業
		福山		7,560				有
20	高江山之口線				新規	踏切拡幅実施設計一式	H 25	
					国分	5,900	11.20	
					新規	実施設計L=200m		
21	内山田~小田線				隼人	3,300	H 28	
22	川跡~園田線					改良工事L=200m	H 24	
					国分	34,000		
23								
24							=	
25								
26								
07								
27								
28								
-								
29								
<u> </u>								
30								
30							1	
31							-	
\vdash								
32								
<u> </u>								
33								
55							1	
34							1	
I								
35								
<u> </u>								

 事務事業 コード
 761213
 事務 道路新設改良事業
 担当部建設部 担当課

2	評価の部 <			評価	評価理由
A	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?		■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事業を実施することにより、市民が安全快 適に移動できることにつながる。
	評価	② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?		■ 妥当である □ 見直す必要がある	道路整備は、市の義務であり、通行車輌・歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
В	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?		■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。
(効率性評価	④事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?		■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。
C	刈华注計画	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	3	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?		■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2	2)全体総括(振り返り、反省の	点)
				い財政状況の中、事業の進捗に 5、早期完成を目指して事業を推	若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 進する。
_	人從《十六世	CDIANS			
	今後の方向性)評価結果に	もとづく今後の方向性	目は的な改善計画 / 豆は肉	⑥止・休止すべきとした場合の理由)	
-	<mark>/計画桁来[⊂</mark> □ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	(2)	/ 天 アンプル 以 古日 四 (又 し 例	ET.WTA、JCCCに過音の荘田)

(1)評価結果にも	らとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 休止	[目的妥当性①②、有効性③の結果]	
□ 有効性改善	[有効性③の結果]	広範囲にわたり地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。この厳しい財源状況の中、地元の優先順位等を考慮して、ビルドアンドスクラッ
□ 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果]	プを基本に通行の安全を図り、快適に移動できるように道路改良事業を実施していく
□ 公平性改善	[公平性⑥の結果]	
■現状維持・継	続	

0

0

0

52,600

▲ 146

52,454

	# 1 III 7 7 7				3. 323		<u> </u>	_				7/13			1.3.4	
	事務事		761	220 事 務	辺地対策道	攺敕	借事業					担	当		建設部	
ı		ド	701	事業名	·未石								当	課:	土木課	
	政策	名	1	快適で魅力	」あるまちづく「	J						グ	ルー	プj	直路整備第1∙2	2G
	施策	名	2	交通体系 <i>0</i>	D充実							電	話番	号	15-5111	
	基本事	業名	1	道路ネット「	フークの構築							内	線 番	号 2	2771 • 2774	
	予算	会計	 ;	般会計												
	科目	款	8	土木費	項	2	道路橋梁費		目	2	道路新設改良	費		コー	ド 761220	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位:千円

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	4 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)
	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

	\$\$\frac{1}{2} \frac{1}{2} \fra						
番号	路線名等		平成23年度		平成24年度	完了	備考
号	四級石寺	区分	実績	区分	計画	予定	III ~
1	口輪野~永迫線		用地補償、委託補償	和生作元	以及工事 L=100m	H 26	
		国分	5,233	国分	30,000		
2	持松線		改良工事 L=180m	継続		H 23	
		牧園	59,042	牧園			
3	永池~狩川線				用地 改良工事 L=120m	H 26	
				霧島	31,000		
4	狭名田~水流山線		用地補償		用地補償	H 24	
		霧島	721	霧島	5,500		
5	大窪~笹之段線		委託補償		(繰)用地補償 委託 (繰)改良工事 L=80m	H 26	H23→H24:48,000 千円
		霧島	1,050	霧島	48,000		工事、用地補償
6	泉水~市後柄線				用地補償	H 28	昨年度まで幹線市道 整備事業
				霧島	4,000		正川尹木
7						-	
8							
9							
10							
	<地区別>	総		絲	¥続= 5 新規= 1		•

H 23 H 24 国分 1 溝辺 横川 牧園 1 1 霧島 2 4

隼人

福山

<全⁴	体事業	費>	平成23年度決算	草(A)	平成24年月	复計画(B)	前年度比較	(B)-(A)
事	業	費		66,046		118,500		52,454
事	務	費						0
合		計	4路線	66,046	5路線	118,500	1 路線	52,454

<財源内訳> 平成23年度決算(A) 平成24年度計画(B) 前年度比較(B)-(A) 国庫補助金 支 出 金 地 債 65,900 118,500 そ 他 の 般 財 源 146

66,046

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか?

合

② この事務事業に対する議会から出された意見

各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の 要望が寄せられている。

計

口輪野~永迫線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せ られた。

118,500

 事務事業 コード
 761220
 事務 事業名
 辺地対策道路整備事業
 担当 部 建設部 担当 課 土木課

2 評	価の部 <	SEE>	評価	評価理由
A [目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	この事務事業を実施することにより、市民が安全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。
		② 公共関与の妥当性・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道 路を整備する事は妥当である。
ВЯ	有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策 の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能に なる。
· ·	効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を 削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト縮減を図っている。
۰ د		⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D ?	公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	■ 公平・公正である □ 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が 利用することから、公平性は保たれる。また、受 益者負担は求めていない。
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反省局	点)
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	■ 適切 □ 見直す必要がある	厳しい財政状況の中、事業の進捗に るよう、早期完成を目指して事業を推	若干の遅れを感じるが、市民の要望に応えられ 進する。
2 4	終の士白州	CDLAND		
	後の方向性 評価結果に	とづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃	止・休止すべきとした場合の理由)

	. <1		
(1)評価結果に	もとづく今後の	方向性	(2)具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
□ 廃止	[目的妥当性	①②、有効性③の結果]	
□ 休止	[目的妥当性	①②、有効性③の結果]	
□ 有効性改善		[有効性③の結果]	広範囲にわたり地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。この厳しい財源状況の中、地元の優先順位等を考慮して、ビルドアンドスクラッ
□ 効率性改善((コスト削減)	[効率性④⑤の結果]	7。を基本に通行の安全を図り、快適に移動できるように道路改良事業を実施していく
□ 公平性改善		[公平性⑥の結果]	
■ 現状維持・継	続		

評価対象	年度	平成 2	23年度	事 務 事	業 評	価 表	<一般用>				1	様式1
事務事	業	761	410 事務	河川維持管	田車業			担		部	建設部	
П	ド	701	事業名	川州村官	生 争未			担	<u></u>	i 課	土木課	
政策:	名	1	快適で魅力な	あるまちづくり				グ	ル	ーブ	河川港湾グル	ープ
施策	名	4	防災対策の持	雀進				電	話:	番 号	45-5111	
基本事	業名	2	災害危険箇所	折の整備				内	線	番号	2781, 2782	
	会計	一角	设会計				□ 単年度のみ					
予	款	8	土木費			事業 期間	■ 単年度繰返(開始 ²	丰度	ŧ	H 19	9 年度~)	
予 算 科	項	3	河川費			2411b1	□ 期間限定複数年度	(~)	
目	目	1	河川管理費			根拠法令•						
	コープ	761	410			条例等						
関連計	一画											

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do> 平成23年度実績 ① 手 段 (事務事業の概要) 河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、市が管理する河川(準 既設護岸や堤防の維持管理、補修・修繕等を 用河川65本、普通河川99本)の堤防陥没・浸食等、小規模な被災箇所の修繕補修や 行った。(寄州除去工事等4箇所繰越) 除草など日常管理を行う。 主 な 活 平成24年度計画 動 既設護岸や堤防の維持管理、補修・修繕等を 行う。 25年度 22年度 23年度 24年度 ② 活動指標 (事務事業の活動量) 単位 (実績) (実績) (見込) (見込) 0 丁事簡所 箘所 4 4 22年度 23年度 24年度 25年度 (誰、何を (③対象の大きさを ④ 対象指標 ③ 対 象 単位 対象にしているのか) 表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 維持補修の必要な河川 維持補修の必要な河川の数 箇所 10 10 10 11 24年度 25年度 22年度 23年度 (⑤意図の ⑤ 意 図 ⑥ 成果指標 単位 どうしたいのか) 達成度を表す指標) (実績) (実績) (見込) (見込) 安全安心で、快適な生活ができる 対応率(修繕箇所/修繕が必要と判断された % 100 100 100 100 ようにする 箇所数) (どんな結果に (⑦結果の達成度 22年度 23年度 24年度 25年度 ⑦結 果 ⑧ 上位成果指標 単位 (実績) 結び付けるのか) を表す指標) (実績) (見込) (見込) 危険箇所数に対する整備済箇所数の割合 安全性が確保される % 31.1 32.5 33.0 =工事進捗率(砂防関係) (3)事務事業の環境変化・住民意見等 (2)事業費 単位:千円 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又 この事務事業は、いつ頃、どのような 23年度 24年度 きっかけで開始されたのか? は5年前と比べてどう変わったのか? (決算) (予算) 公共土木施設災害復旧事業に該当しない小 豪雨、台風等により被害状況は異なるが、局部的な 当初予算額 3,505 6,300 規模な被災箇所の復旧、堤防の維持補修およ 集中豪雨などが発生し易く、また、護岸施設の経年 び除草を行うことで、安全性の確保を図る目的 算 劣化等により小規模な堤防の陥没・吸い出し、路肩 補 正 予 算 で平成19年度より開始した。 の決壊などが増える傾向にある。 額 算 6,300 合 計 3,505 国庫補助金 0 この事務事業に対する議会から出された

支 出 0 県 金 地 債 0 方 算 そ മ 他 0 額 般 財 源 3,452 出 合 3,452

③ この事務事業に対して誰からどんな意 見や要望が寄せられているか?

市民から、被災箇所を小規模な被災の段階で 復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害の防止 を図るために、早急な整備が求められている。

意見

住民の生活に密接に関係しているため、早めの対応 (補修・修繕等)を求められている。

	務事業	761410	事務河	川維持管理	車業				担 当 部	建設部		
⊐	ード	701410	事業名	11作1寸日注	デ木				担当課 土木課			
		*		23年度 (対			4年度(当初			25年度 (見		
4	#G	単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
2	報給	 料										
3												
4	共	<u> </u>										
7		金										
8	報											
9	旅	費				5		5	5		5	
10	交	際費										
11	需消	用 費 耗 品 費	1,977		1,977	2,295		2,295	1,995		1,995	
	燃	料費										
	食	料 費										
		刷製本費										
	光修	熱 水 費 繕 料	1,977		1,977	2,295		2,295	1,995		1,995	
12	役	務費										
	通広	信運搬費告料										
	手	数料										
	, 保	険 料										
13	委	託 料	481		481	2,000		2,000	2,000		2,000	
14	使用料	料及び賃借料	994		994	2,000		2,000	2,000		2,000	
15		請負費										
16		材 料 費										
17		財産購入費										
18		購入費										
19		補助・交付金										
20	<u>扶</u> 貸	助 費 付 金										
21		付 金 填及び賠償金										
23		:利子•割引料										
24		及び出資金										
25	積	立 金										
26	寄	附 金										
27	公	課費										
28	繰	出 金										
		計	3,452		3,452	6,300		6,300	6,000		6,000	
		国										
	地	<u>県</u> 方 債										
	迎辺	<u>力 </u>										
財源	過											
内訳		併特例債										
	そ	の他										
			3,452		3,452	6,300		6,300	6,000		6,000	
		計	3,452		3,452	6,300		6,300	6,000		6,000	
ż	甫助率	玉										
補		県 基本額										
				0.5	505 千円		₩ # 00 <i>f</i>	F度 卧海点	記の「その川	u o da =□		
平成		初 予 算 E 予 算		ა,ნ	いい 十円	 -	十八 23 年	+皮 別源内	訳の「その他	·」이어하		
	第 1			第5回								
23	第 2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	.説明		
年	第3			第7回			ンル見可	- J. A. A. J. III.		- pro 73		
年度	第4			第8回								
		算合計			3,505 千円							

	務事業 コード	761410	事 務事業名	河川維持	担当部 建設部 担当課 土木課						
2	評価の部	『 <see></see>			評価	i		評価	<u> </u>		
Α	•この		を合性 目的は基本事 果) に結びつく		■ 結びついている□ 見直す必要が	_	浸食等の小		こ流す必要があることから、堤防陥没・・・補修を行うことは、防災対策の推進 とに結びつく。		
目的妥当	② 公共 ・この のか	関与の妥当)事業をなぜi ?		ればならない	■ 妥当である □ 見直す必要が		等の小規	模な被災箇所を修繕	行う義務があり、堤防陥没・浸食・補修することで、防災対策の推っことは妥当である。		
1性評価	③ 対象	・意図の妥			■適切である □対象を見直す			防止につながることか	要災箇所を整備することで、大規 いら、現状の対象・意図を見直す		
В	・成り 上さ	せることができ	さ値をあるべき きるか?		□ 意図を見直す ■ 向上余地はな (十分に成果	ない が出ている)	の範囲で に寄与し 老朽化や	補修・修繕を行ってい ている。しかしながら、	を小規模な段階で最小必要限度 かる。これらは、防災対策の推進 豪雨等による堆積土砂の除去、 の維持管理については、継続的		
有効性]	·事		果への影響 又は休止した か?		影響がある□ 影響がない			上することは二次災害	皮災箇所において、修繕・補修を に繋がり、冠水・浸水被害などを		
評価	・目自		晩房・連携 ためには、この い?		■ 他に手段がた						
	・類(り成	以事業との統	廃合や連携を 明待できるか?	図ることによ	□ 統合でき ⁷	ない □ 連携					
C 効	·成	果を下げずに	本地 事業費を削減 の適正化、住		■ 削減余地がた □ 削減余地があ		最小必要限度内での修繕や補修であるため、事業費の削減地はない。				
率性評価	・やり 間を ・成り でき)方を工夫して 削減できない 果を下げずに ないか?	職員以外の対	系る業務時 け応や委託を	■ 削減余地がない 施工のための工事費積算・現場指導は、職員がなる。これらは市職員でなければ対応できない業削減はできない。						
D公平性評価	・事 不公	業の内容が一 :平ではないか	負担の適正 部の受益者に い? 、平公正になっ	に偏っていて	■ 公平・公正で □ 見直す必要が		公共施設(河川)の整備であり、受益者が特定できない の住民に限られるものでもない。				
	(1)1岁	マ評価者(課	長)としての	評価結果	(2) 슄						
総	A目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある						
括		効性 率性	■ 適切 ■ 適切	□ 見直す必□ 見直す必	必要がある 必要がある	事業は、政策	体系に沿っ	て適切に実施されて	いる。		
		平性	適切	□ 見直す必	必要がある						
		<mark>5向性<pl< mark=""> B/c+ b/ご/</pl<></mark>		.k/L	<u> </u>	(0) the it is	7 (+ /+ , L =	トペキレナー担合の	THI ch		
(1)	評価結:	• •	<mark>今後の方向</mark> 「目的妥	·-	·効性⑤の結果]	(2)廃止)	KITWIE 9	すべきとした場合の	理出		
					が性⑤の結果]						
	□目的	再設定		的妥当性①③							
		統合•連携 Ⅰ性改善(成果	=	効性⑥の結果 効性④の結果	=						
		性以善(成条 性改善(コス		郊性堡の結果 率性⑦⑧の絹	=						
	□公平			平性⑨の結果	··· -						
	■ 現状	維持・継続									
(3)	且休的:	な改善計画	*	(1)のチェック	フ項目に対し、具体	k的にどのよ	うに取り組み	たのか			
① 異常 河床	平成24 4 な天然現 低下等か	年度の取組 見象である豪雨 ¹ 見受けられる	み概要及び 雨等による河川 5。平成24年月 、災害の軽減・	期待される交 堤防の陥没。 ま管理河川の	か果 ② 平成 ・決壊・ 異常な天 の維持 る。平成2	【25年度に 耳 然現象である	取り組むべ 豪雨等によ	き具体的な内容 る河川堤防の陥没・	決壊・河床低下等が見受けられ け処し、災害の軽減・未然防止を		

評価シート <一般用>

評価対象	年度.	平成 2	23年度	事 務 事	業評	価 表	<一般用>				†	
事務事		761	412 事務	旦	科崩壊対策	車業		担	当		建設部	
□	ド	701	事業名	木平心 侧/	付朋 级 刈 米 *	学 木		担	当		土木課	
政策:	名	1	快適で魅力	あるまちづくり				グ	ルー	・プ	河川港湾グル	ープ
施策:	名	4	防災対策の	推進				電	話 番	号	45-5111	
基本事	業名	2	災害危険箇	所の整備				内	線番	号	2781, 2782	
	会計	一角	2会計			+ **	□ 単年度のみ					
予	款	8	土木費			事業期間	■ 単年度繰返 (開始:	年度		63	年度~)	
予 算 科 目	項	3	河川費			MIHI	□ 期間限定複数年度	(~)	
目	目	1	河川管理費	,		根拠法令・	鹿児島県県単急傾斜地崩壊	计学	市 坐	at Hh	公 西 炯	
	コード	761	412			条例等	胚 冗局景景早心倾斜地朋级	: 刈	ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる ままれる	用功	立女啊	
関連計	画											
1. 現状报	巴握	(1)事	務事業の目的	かと指標 <ロ	Oo>							

	算 項	8	土木費河川費			単年度繰返 (開始年度 S 63 年度~) □ 期間限定複数年度 (~)							
	科 <u></u> 目	1	河川管			根拠法令・	鹿児島県県			第事業補助.	全要綱	<u>, </u>	
	コード 関連計画	76	61412			条例等	<i>дауа</i> дуунун-		11/20/1/1927/1/	/(+ /< III //)	E A M		
_	現状把握	(1)	<u>車 </u>)目的と指標	<do></do>								
_				7日町と相像					平成2	23年度実績	E		
	手段(事			1 #1 (() d=2, 8 /	ひつの仏人 母女のに	1=#1 100 マナ ル	けいてする			地区 法面口			
どの	対策工事を実	施す		土砂災害から	住民の生命・財産の保	た護を凶るため)、\的災上 事 7。		溝辺・宮川ロ	内6地区 法	面工		
	頃斜度30度以 高さ5m以上	上						主な	霧島•床浪		方護柵工		
3. \$1)	人家5戸以上(5戸オ	そ満でも、官な	公署、災害時勢	要援護者関連施設、学	学校、旅館等0	うある箇所を含	活活		2 <mark>4年度計画</mark>	Ī		
)								動	霧島•床浪:	内6地区 法 地区 法面 地区 法面	iΙ		
2	活動指標(事務	事業の活動量	<u>t</u>)			単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	工事箇所数						箇所		2	3	3	3	
1													
ゥ													
3	对 * 対		しているのか		指標 (③対象の) 表	大きさを :す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	急傾斜地危険 の住民	箇所	の防護区域に	世帯数			戸		3,699	3,699	3,695	3,689	
1				危険箇所	数		箇所		633	633	632	592	
ゥ													
⑤	意図(対	 象を ど	うしたいのか	⑥ 成果	指標 (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	土砂災害から を守る	住民	の生命、財産	危険箇所 工事進捗	数に対する整備済箇所 率	所数の割合=	%		32.0	32.5	33.0	33.5	
1													
ゥ													
Ø	結果 (ど		結果に '付けるのか)	⑧ 上位.		果の達成度 長す指標)	単位		22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	25年度 (見込)	
ア	安全性が確保	され	3		数に対する整備済箇所 渉率(砂防関係)	所数の割合	%		31.1	32.5	33.0		
1													
(2	事業費			単位∶千円	(3)事務事業の環	環境変化・住	民意見等						
			23年度 (決算)	24年度 (予算)	① この事務事業に きっかけで開始	は、いつ頃、。 aされたのか	どのような ?		事務事業をは5年前と				
予	当初予算	額	54,000	40,500	急傾斜地崩壊危険領 斜地崩壊対策事業	箇所に指定され の採択要件を	れ、県単急傾 満たしている		力金が年々糸 見するようにな		り、工事完成	戈までに期	
	補正予	算	▲ 27,000		地区で、土砂災害かため、昭和63年から	ら住民の安全	確保を図る						
钦	予 算 合	計	27,000	40,500	ある。	1.76.17.121	, = , = 0 (
	国庫補助	金	0		③この事務事業Ⅰ	こ対して誰か	らどんな意		この事務事	業に対する	5 議会から	出された	
24.		金	6,500				ているか? 息見			トフナル			
決算額		債	0		特に一昨年の豪雨は	こより、被災箇							
額		他	0		ため、要望箇所も増	ルルレバこ。							
	一般財	源	6,500										

13,000

	務事業	761412	事務事業名	県単急傾斜崩	陸 対		担 当 部 建設部						
	ード	701412	事業名	7.平心侧外朋	坂 刈水尹木				担当課土木課				
			平月	成23年度()	夬算)		4年度 (当初]予算)	平成	,25年度 (見	.込)		
		単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計		
1	報	酉州											
2	給	料											
3		手 当 等											
4	共	済 費											
7	賃	金											
8	報	償 費											
9	旅	費											
10	交	際費											
11	需	用 費											
		耗 品 費											
	燃	料 費											
	食	料 費											
		刷製本費											
		熱水費											
	修	繕 料											
12	役	務費											
		信運搬費											
	広	告 料											
	手	数料											
	保	険 料											
13	委	託 料					2,000	2,000		2,000	2,000		
14		及び賃借料											
15		請負費		13,000	13,000		38,500	38,500		36,000	36,000		
16		才 料 費											
17		材産購入費											
18		購入費											
19		補助•交付金											
20	扶	助費											
21	貸	付 金											
22		填及び賠償金											
23		利子•割引料											
24		ひ出資金											
25	積	立 金											
26	寄	附 金											
27	公	課費											
28	繰	出 金		10.000	10.000		10.500						
		計		13,000	13,000		40,500	40,500		38,000	38,000		
		国		0.500	0.500		00.050	00.050		10.000	10.000		
	116	県		6,500	6,500		20,250	20,250		19,000	19,000		
	地	方 債											
財	辺過	地 債 疎 債											
源内													
訳	百	併特例債											
, ·	7-	<i>→</i> //L											
	そ - #	の他		6 500	6 500		20.050	20.050		10.000	10.000		
	f	股 財 源 ■		6,500	6,500		20,250	20,250		19,000	19,000		
		計		13,000	13,000		40,500	40,500		38,000	38,000		
	甫助率	国 県											
補	助	 基 本 額											
				= 1	200 7 111		u + ^^ -		=D & C Z & ''				
平		切 予 算			000 千円		平成 23 年	- 度 財源内	訳の「その他	リの内訳			
成		E 予算			000 千円								
23	第1回 第5回 第2回 第6回					_	少 to # #*	の事業中生	D+ 4 0 1				
<i>F</i>						参加費等の事業実施のための収入説明							
年度	第3			第7回	A ^	27,000 ※第8回以降の補正予算内訳							
汉	第 4			第8回		第9回(3月)▲27,000千円							
	予算	合 計		2	27,000 千円	サ教シュ	_				/一帆田>		

	事務事業 761412 <mark>事務</mark> 県単急傾 コード 761412 <mark>事業名</mark> 県単急傾				斜崩壊対策事業				<mark>担当部</mark> 建設部 担当課 土木課		
2	評価のき	形 <see></see>				評価		評価理由			
		体系との整				н і інч		急傾斜地	の崩壊の恐れのある災害危険箇所における土砂災害		
Α _	・この (基))事務事業の 本シートの結り	目的は基本事 果)に結びつく		■ 結びつ□ 見直す		-	から、市民	Rの生命・財産を守ることは市の役割であり、防災対策 図ることに結びついている。		
目的妥	・このか	•	†が行わなけ;		■ 妥当である □ 見直す必要がある			急傾斜地崩壊の恐れのある災害危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産を守るために対策工事を行うことは、市の義務であり妥当性がある。			
当性		金を投入して、 た・意図の妥		りか?	□ 兄回9		නව				
評価	・対象や意図を限定又は追加すべきか?			 トべきか?	□ 対象を見直す必要がある□ 意図を見直す必要がある			急傾斜地の崩壊箇所の防災対策を行うことは、土砂災害から市民の生命・財産を守ることになり、安全性が確保されることから、対象・意図は適切である。			
В	·成:	4) 成果の向上余地・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?			■ 向上余 (十分)	こ成果が	(出ている)		の崩壊箇所の防災対策を行うことで、急傾斜地危険 少し安全性の確保が図られる。		
有効性	·事	と・休止の成 務事業を廃止 な影響があるた	又は休止した		影響がある□ 影響がない			急傾斜地の崩壊危険箇所は数多く存在しているため、廃止・休止すると災害危険箇所の整備がなされないことになり、安全性の確保が図れなくなる。			
評価	•目	以事業との紛 的を達成する	ためには、この		□他に手	段がない	,1		(他に手段がある場合の事務事業名等) 治山事業等(林務水産課)		
	•類(外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?			■ 他に手段がある□ 統合できない■ 連携□ 統合できる□ 連携		できないできる	採択基準や事業の目的が違うため連携できない。			
C 动	·成:	費の削減 果を下げずに (仕様や工法	事業費を削減		■ 削減余				による整備が原則であり削減は難しいが、箇所ごとに 等を勘案しながら事業費縮減の検討を行う必要があ		
効率性評価	8 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?			■ 削減余地がない □ 削減余地がある		用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。					
D公平性評価	・事業の内容が一部の受益者に偏っていて 不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?			■ 公平・公正である □ 見直す必要がある			実施箇所の住民が受益対象となるため、受益者負担の是非の 協議が必要かもしれない。しかしながら、市内には危険箇所も 多く、県営事業の採択基準に該当しない箇所を本事業で行うこ とになるが、県営事業には受益者負担金が伴わないことから、 本事業でも同様の扱いで、負担金を徴収していない。				
	(1)1%	マ評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(省点)		
総	A目	的妥当性	適切	□ 見直す必	必要がある						
	B 有	効性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	~の事	業は 施第6	休玄に沁っ	て適切に宝飾されている		
括	C 效]率性	■ 適切	□ 見直す必	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。				「C/M G/M C A // C V *J。		
	D公	·平性	■適切	□ 見直す必	必要がある						
3 -	今後のフ	b向性 <pl< th=""><th>AN></th><th>_</th><th>-</th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	AN>	_	-						
(1)	評価結	果にもとづく	今後の方向	性			(2)廃止3	スは休止す	すべきとした場合の理由		
	□ 廃业			当性①②、有		–					
				·当性①②、有		課]					
]再設定 :統合・連携		的妥当性①@ 効性⑥の結果							
				効性④の結果 効性④の結果	-						
		性改善(コス		率性⑦⑧の絹	=						
	□ 公平	性改善	[公	平性⑨の結果	!]						
	■ 現状	維持•継続									
		1 -1 -1 -1									
		な改善計画		(1)のチェック							
市内平成あり、	には、急 23年度に その中	傾斜地の崩壊 こおいては一 でも緊急を要す	複危険箇所が 昨年の豪雨に ける1箇所の危	期待される交 数多く存在し よる被災箇所 た険箇所と、組 す産の安全確	ている。 平月 行が多く 続簡				き 具体的な内容 所の整備を行い、住民の生命・財産の保全を図る。		

評価シート <一般用>

	25 T 12	2 1 7% 20 十尺				 	· [] [四文	一川以正		(VIII I		坦抑	正	<u>/m//13/</u>		1	水工(0
事務事業		761	414	事 務	ţ	総合治水対策事	業							担	当		建設部	
П	ド	701	717	事業名		10000000000000000000000000000000000000	~							担	当	課	土木課	
政策	名	1	快	適で魅力	」ある	るまちづくり								グ	ルー	J	河川港湾グ川	レープ
施策名 4 防災対策の推進											電	話 番	号	45-5111				
基本事	業名	6	治	水対策の	り推:	進								内	線番	号	2781、2782	
	会計	 ;	般会計	+					事業	17 1	cl)	16	年度	~	平成		年度	
予 算	款	8	土	木費					期間 平成 16 年				十尺		十八人		十段	
异 科	項	3	河	費			IT lines.											
科目	目	1	河	川管理費	劃		根拠法令・ 条例等											
	コード	76	761414															
関連計画										·						<u> </u>		

<Do> (1)事務事業の目的 1. 現状把握

① 事業開始の理由及び事業の概要

国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生して 平成16年度は、国分地区の基本構想および基本計画の作成、17年度~20 年度にかけて国分中央ブロックの実施計画、測量調査、基本設計及び一部の 実施設計を行っている。隼人地区については、18年度~20年度にかけて基 本計画、実施計画、基本設計を作成済みである。

平成22年度までに国分の府中地区や中央四丁目付近の排水路の改良工事 が完了している。平成23年度は、国分中央ブロック、隼人の東郷及び姫城の 排水施設の詳細設計や排水施設の実施設計を行った。平成24年度以降は事

③ 事業に対する議会から出された 意見 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記) 住民より早急な浸水解消の要望が寄せ 早急な実施を望む意見が多い。

業実施に向けて事業認可等の手続きを行ってい

③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか) ⑤ 結 果 4 意 図 (対象をどうしたいのか) (どんな結果に結びつけるのか) ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域 豪雨時における浸水被害の低減が図られる 水害の被害が軽減される イ 治水対策が必要な箇所

られている。

全体計画 (H 16 ~)	平成22年度までの実施状況	平成23年度 実績	平成24年度 計画
世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長(L=2,920m)	総合治水対策事業基本計画策定総合治水対策事業実施計画策定総合治水対策東郷·姫城基本測量設計府中地区排水路改良工事中央四丁目地区水路詳細設計総合治水事業河川事前協議資料作成中央四丁目排水路改良工事排水路実施設計(府中・東郷・姫城)地区	排水機場実施設計(姫城地区) 樋門実施設計(姫城地区) 地質調査(姫城地区)	排水機場実施設計(奈良田地区) 地質調査(奈良田地区) 排水路実施設計(福島地区) 国分·隼人地区排水計画策定
平成25年度 計画	平成26年度 計画	平成27年度 計画	平成28年度以降 計画
排水機場実施設計(東郷地区) 地質調查(東郷地区) 用地補償 排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償	排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償	排水機場整備工事(奈良田) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城)	排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路実施設計(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)

(2)事業費

単位:千円

全体計画 H 16 ~ 単独 補助 合計 57,800 玉 57,800 県 方 債 1,626,700 地 辺 地 過 債 疎 合併特例債 1,626,700 1,626,700 そ の 他 37,800 37,800 般 財 源 254,114 25,518 279,632 計 1,918,614 83,318 2,001,932

			単位:千円
	H 23年度 決算(A)	H 24年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)
当初予算額	60,000	60,000	
補正予算額	-14,516		
予 算 合 計	45,484	60,000	14,516 32% 増
国庫補助金			
県支出金			
地 方 債	800	55,400	54,600 6825% 増
その他	37,800		▲ 37,800 100% 減
一般財源	6,866	4,600	▲ 2,266 33% 減
支 出 合 計	45,466	60,000	14,534 32% 増

	単	位:千日	٦ آ	事務事		414 事		総合治水対策	事業				担当部担当課	建設部土木課	
					全体計画	<u> </u>		平成22年度	きでの		平成23年月	ŧ		平成24年原	Ė
	区	分		(H	H 16 ~)		実施状況			(実績)	-		(計画)	
事業内容事業量			世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長(L=2,920m)				総合治水対策事業実施計画策定			排水機場実施設計(姫城地区) 樋門実施設計(姫城地区) 地質調査(姫城地区)			排水機場実施設計(奈良田地区) 地質調査(奈良田地区) 排水路実施設計(福島地区) 国分·隼人地区排水計画策定		
				単独	補助	合計	城) 抽I 单 狐		合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報		栅								11.0 72				
2	給		料												
3	職	員手当	等												
4	共	済	費												
7	賃	1445	金												
9	報旅	償	費費										-		
10	交	際	費				-								
11	需		費												
	_	肖耗品													
	煤	然 料	費												
	1		費												
	-	印刷製石													
	-	光熱 水 多 繕	類料												
	PS	多 	11												
12	役	務	費												
	ì	通信運搬	设費												
	Д	太 告	料												
	- 1	手 数	料												
-10		保険	料	100 014		100 014	F0 :	1.40	50.140	45 400		45.400	60.000		60.000
13	委	託 料及び賃	料	166,614		166,614	53,1	148	53,148	45,466		45,466	60,000		60,000
15		事請負		1,588,000	83,318	1,671,318	15,0	000 83,318	98,318						
16		材料				, ,			,						
17	公	有財産購.	入費	145,000		145,000									
18	備	品購入	、費												
19		金補助・交													
20	扶貸		費												
21		付 諸補填及び照	金	19,000		19,000									
23		金利子·割		15,000		10,000									
24		資及び出:													
25	積	立	金												
26	寄	附	金												
27	公	課	費												
28	繰	出計	金	1,918,614	83,318	2,001,932	68,1	148 83,318	151,466	45,466		45,466	60,000		60,000
		国		1,310,014	57,800	57,800	00,	57,800		45,400		40,400	00,000		00,000
		県			,000	2.,000		3.,500	2.,000						
	地	方	債	1,626,700		1,626,700				800		800	55,400		55,400
財	ï	辺 地	債												
源	ì		債												
内訳	É	合併特例	列債	1 696 700		1 696 700				000		000	EE 400		EE 400
	そ	の	他	1,626,700 37,800		1,626,700 37,800				800 37,800		800 37,800	55,400		55,400
	_	般財		254,114	25,518	279,632	68,1	148 25,518	93,666	6,866		6,866	4,600		4,600
		計		1,918,614	83,318	2,001,932	68,1			45,466		45,466	60,000		60,000
5±	助率		E .												
		ļ.	ŧ												
補	助	基本	額					_							

平成23年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	60,000
補正予算	(14,516)
合 計	45,484

	11111 3 31113	W 17		1 122 . 1 1 3		
第	1 回		第4回		第7回	
第	2回		第5回		第8回	(14,516)
第	3 回		第6回			

	単位:千円	事務事コート			務総業名	合治水対策	事業				担当部担当課	建設部土木課		
	区 分			隻	平成26年度			平成27年度			平成28年度以降			
	事業内容事業量	地質調査(用地補償 排水機場惠 排水路整備	(計画) 医施設計(東 東郷地区) を備工事(奈 青工事(奈良 青工事(姫城	良田) 田)	排水路惠 排水路惠	排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償			(計画) 排水機場整備工事(奈良田) 排水機場整備工事(東郷) 排水路場配工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城)			(計画) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路実施設計(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
1	報 好	半江	冊切	口前	半江	作用・シリ	口前	半江	門切	口削	半江	冊切	口削	
2	給 料													
3	職員手当等													
4	共 済 費													
7	賃 金													
8	報賞費													
9 10	旅 費 交 際 費													
11	需 用 費													
1	消耗品費													
1	燃料費													
	食 料 費													
1	印刷製本費													
1	光熱水費													
1	修繕料				-									
12	役 務 費	-												
'-	通信運搬費													
	広 告 料													
	手 数 料													
	保 険 料													
13	委 託 料										8,000		8,000	
14	使用料及び賃借料	000		007	05: -:	0	201	100		105	200		205 771	
15	工事請負費 原材料費	226,000		226,000	301,00	U	301,000	438,000		438,000	608,000		608,000	
16	原 M 科 負 公有財産購入費	60,000		60,000	60,00	0	60,000	20,000		20,000	5,000		5,000	
18	備品購入費	50,500		00,000	55,00	-	00,000	20,000		20,000	5,500		0,000	
19	負担金補助·交付金													
20	扶 助 費													
21	貸付金													
22	補償補填及び賠償金				14,00	0	14,000				5,000		5,000	
23	償還金利子・割引料 - おろび山谷全	-												
24 25	投資及び出資金 積 立 金	}												
26	寄附金	 												
27	公 課 費													
28	繰 出 金													
	計	286,000		286,000	375,00	0	375,000	458,000		458,000	626,000		626,000	
	国													
	地 方 債	257,400		257,400	337,50	0	337,500	412,200		412,200	563,400		563,400	
	地 方 債 辺 地 債	201,400		201,400	331,30		331,300	414,400		414,400	505,400		505,400	
財源	過疎債													
内	合併特例債													
訳		257,400		257,400	337,50	0	337,500	412,200		412,200	563,400		563,400	
	その他													
	一般財源	28,600		28,600			37,500	45,800		45,800	62,600		62,600	
	計	286,000		286,000	375,00	U	375,000	458,000		458,000	626,000		626,000	
補	助率	 			+									
補	助基本額													
110														

 事務事業 コード
 761414
 事務 事業名
 総合治水対策事業
 担当部建設部

		1. NO EL		<u> </u>			
2 評	福の部 <		評価	評価理由			
ΑE	目的妥当性	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	■ 結びついている □ 見直す必要がある	宅地の浸水被害や道路冠水の低減を図り治水対策を推進し、水害被害の防止を行うことで、防災対策の推進に結びつく。			
	評価	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか?・税金を投入して、達成する目的か?	■ 妥当である □ 見直す必要がある	公共施設である道路の冠水から通行車両及び歩 行者の安全を確保し、また、地域住民を浸水被害 から守るため、市が関与することは妥当である。			
p #	与効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	■ 順調に進捗している □ 遅れている	治水対策には、多額な事業費が必要であるが、少ない事業費で浸水軽減を図った箇所もある。しかしながら、残りの箇所については、多額の事業費が必要であるため、補助事業の導入を図りたい。			
D #	ラメガ 正計 脚	④廃止・休止の成果への影響・事務事業を廃止又は休止した場合に どのような影響があるか?	■ 影響がある □ 影響がない	浸水被害が見られる地域の周辺部の農地の宅地 化が進み、遊水地が減少する状況の中で、廃止・ 中止することは被害がさらに拡大する恐れがある。			
C 効率性評価		⑤事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	■ 削減余地がない □ 削減余地がある	浸水被害が発生している箇所の多くが住宅密集地に位置 しており、用地確保及び工事に多額の経費が必要となる。 しかしながら、施設設置場所を道路等の公共用地を最大 限に利用しているため、経費の削減余地は無い。			
0	у — тат ш	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務 時間を削減できないか?	 ■ 削減余地がない □ 削減余地がある	地元説明会、用地取得のための地権者との交渉、施設設計の委託費積算や工事費積算及び現場指導を職員が担当することになる。これらは、市の職員でなければ対応できない業務のため削減できない。			
D ½	公平性評 価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?	 公平・公正である 見直す必要がある	道路冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、水害から住民を守るための整備であり、一部の住民に限られるものではない。			
	(1)1次評	価者(課長)としての評価結果	(2)全体総括(振り返り、反	省点)			
総括	A 目的妥当 B 有効性 C 効率性 D 公平性	性 ■ 適切 □ 見直す必要がある		いることから早急に整備しなければならない事業で 必要とすることから、施設を設置する場合は可能な限 策に基づき事業を行う。			
3 ♠	後の方向性	<plan></plan>					
		もとづく今後の方向性	(2)具体的な改善計画 (又	は廃止・休止すべきとした場合の理由)			
	廃止 休止 有効性改善 効率性改善(公平性改善 現状維持・継	[公平性⑦の結果]		必要である。少ない事業費で浸水軽減を図った箇所 ては、未整備で多額の事業費を要することから、下水 まの導入を図る必要がある。			